

8 ボール型キャベツの増収法

一 栽 植 様 式 一

(園試高冷地開発センター)

中心規格のL級生産を多くする栽植様式を、管理機の利用などを考慮して、畦幅60cm、株間30cm(10a当り5,555株)が適当とする知見が得られた。適応作型は、県下全域、全作型。

(1) 背景とねらい

本県のキャベツ栽培は、数年前から消費者の嗜好もあって従来の扁円形キャベツからボール型キャベツに栽培が変ってきている。ボール型キャベツは円形で球色も球内まで緑色があり、小球であることが特徴で扁円形キャベツに比較し密植が可能と考えられるが、畦幅・株間について明らかにされておらない。

ボール型キャベツの中心規格はL級(840~1,250g)であり、L級生産を多くする方法として、昭和56~57年に栽植密度を検討した結果、一応の成果が得られたので参考に供する。

(2) 技術の内容

1) 栽植様式は畦幅60cm、株間30cm(10a当り5,555株)とする。(表1~5)

2) 適応作型 県下全域、全作型

(3) 指導上の留意事項

1) 収穫期は特に注意し、(収穫おくれの堅い球は淡緑色となり品質が低下する)8分結球で収穫する。

2) 定植苗は本葉5~6枚とし、基肥重点の施肥設計をたて初期の生育を促進させる。

3) 畦幅50cm、株間30cmでも結果が良い傾向がみられたが、管理機の利用などから60cm畦とする。

(4) 当該事項にかかる試験研究課題名

生産力向上技術の確立

(5) 参考文献・資料

昭和55年・56年・57年岩手県園芸試験場 高冷地分場・高冷地開発センター試験成績書

(6) 試験成績の概要

表-1 収 量 (56年)

品 種	栽 植 距 離	株 の 広がり	外 葉 数	最大葉 cm		全 重 g	球 重 g	球 径 cm		障 害 球 率		10a当り 収量 kg	収 量 比	
				長	幅			たて	よこ	腐敗	不結球		アーリーボール比	50×40比
アーリーボール	50×40	56.0	8.7	29.7	28.3	1,332	891	13.1	13.4	2.5	2.5	4,232	100	100
	50×30	55.0	9.1	29.5	27.1	1,203	799	13.0	12.7	5.0	2.5	4,922	100	116.3
	60×30	54.5	9.2	30.2	28.7	1,329	911	13.4	13.4	7.5	5.0	4,429	100	104.7
スピードボール	50×40	54.4	7.3	27.9	26.7	1,216	823	13.1	12.7	22.7	7.2	2,885	67.9	100
	50×30	54.0	7.3	28.5	26.9	1,122	803	13.5	12.5	12.5	10.0	4,144	84.2	143.6
	60×30	55.4	7.7	28.5	25.7	1,225	893	14.1	13.5	20.0	2.5	3,845	86.8	133.3

※ 収穫期 8月13日

※ a当たり株数 50×40(500) 50×30(667) 60×30(556)

表-2 規格別割合及び規格別収量 (56年)

品種	栽 植 距 離	項目	規格別割合 (個数%)					規格別収量 (個数/10a)					
			LL 1,250g 以上	L※ 840~ 1,250g	M 670~ 840g	S 630~ 670g	格 外 630g 以 下	LL	L	M	S	格 外	L+M級
アー リー ール	50×40		5	40	15	15	25	238	1,900	712	712	1,188	2,612
	50×30		5	45	15	5	30	308	2,772	924	309	1,849	3,696
	60×30		0	60	10	25	5	0	2,919	487	1,216	243	3,406
スピ ール ード	50×40		10	35	40	10	5	388	1,356	1,550	388	193	2,906
	50×30		0	35	50	0	15	0	1,807	2,581	0	774	4,388
	60×30		5	50	30	15	0	215	2,155	1,293	646	0	3,448

※ 品種 アーリーボール

表-3 収量 (57年)

は 種 期	試験 区	項目	株の 広がり cm	外葉 数 枚	最大葉 cm		全重 g	球重 g	球径 cm		障害球率		10a当り 収量 kg	収量比
					長	幅			たて	よこ	腐敗	不結球		
5 月 20 日	50×40		62.0	9.2	34.8	30.4	1,052.1	658.7	14.0	13.2	0	0	3,294	100
	50×30		64.0	9.3	36.6	31.9	1,206.5	668.1	15.1	14.6	0	0	4,499	136.6
	60×30		70.8	8.9	35.5	32.1	1,114.7	693.9	14.5	13.6	2.5	0	375.6	114.0
	60×25		68.6	8.5	37.9	32.9	1,244.2	658.5	15.2	14.5	5.0	5.0	416.6	126.4
6 月 10 日	50×40		61.1	9.5	37.1	33.8	1,584	940.4	13.7	13.3	12.5	0	4,114	100
	50×30		57.4	9.7	34.1	30.7	1,305	813.5	14.1	13.2	15.6	1.3	4,502	109.4
	60×30		61.5	10.5	36.8	34.1	1,620	891.3	13.5	13.9	10.0	3.7	4,268	103.7
	60×25		59.2	8.7	87.1	35.0	1,349	830.2	14.1	13.5	27.5	7.5	3,594	87.4

※ 収穫期 5月20日は種、8月6日~6月10日は種、8月26日

表-4 規格別割合および規格収量 (57年)

は 種 期	試験 区	項目	規格別割合 (個数%)					規格別収量 (個数/10a)					
			LL 1,250g 以上	L 840~ 1,250g	M 670~ 840g	S 630~ 630g	格 外 630g 以 下	LL	L	M	S	格 外	L+M級
5 月 20 日	50×40		0	9	35	14	42	0	450	1,750	700	2,100	2,200
	50×30		0	12	30	21	37	0	800	1,999	1,399	2,466	2,799
	60×30		0	7	50	6	37	0	379	2,710	325	2,001	3,089
	60×25		0	14	32	17	37	0	840	1,920	1,021	2,222	2,760
6 月 10 日	50×40		3.3	67.2	23.3	2.8	3.4	144	2,940	1,019	123	149	3,959
	50×30		0	45.8	35.0	9.2	10.0	0	2,535	1,936	509	554	4,471
	60×30		3.3	67.2	23.3	2.8	3.4	158	3,224	1,118	134	164	4,342
	60×25		4.5	36.6	39.3	9.8	9.8	195	1,587	1,704	425	425	3,291

表-5 5月20日は種の時期別収穫率(57年)

栽植距離 収穫日	50 × 40	50 × 30	60 × 30	60 × 25
8月6日	31.5 %	33.7 %	46.8 %	33.2 %
10日	38.4	39.3	36.1	42.2
13日	24.7	16.5	11.2	9.1
16日	5.4	10.5	5.9	13.1

表-6 57年7月12日~9月15日 1箱当り(5kg)単価(円) (奥中山農協)

(月・日) 規格	7・12	7・21	8・4	8・10	8・13	9・8	9・7	9・15
LL							1,000	
L	385	490	705	1,150	1,075	1,195	1,075	1,435
M	255	395	460	645	670	905	740	1,135
S					600			

※ ALL 10kg